

中学社会 歴史

内容解説資料



令和7年度

中学校用教科書

教育出版

先生と教育出版で創る 「未来への窓」

私たち教育出版は、子どもたちが、「考えることは楽しい」「考えたことで成長した」「もっと学びたい」と思えるような教科書づくりを大切にしています。これから先の予測困難な未来を生き抜くためには、主体的に考える力がいっそう求められます。

自ら考え、自ら学ぶことで喜びを感じる子どもたちと先生方が、ともに学んでいく「新しい学び」を、教育出版は支え続けます。

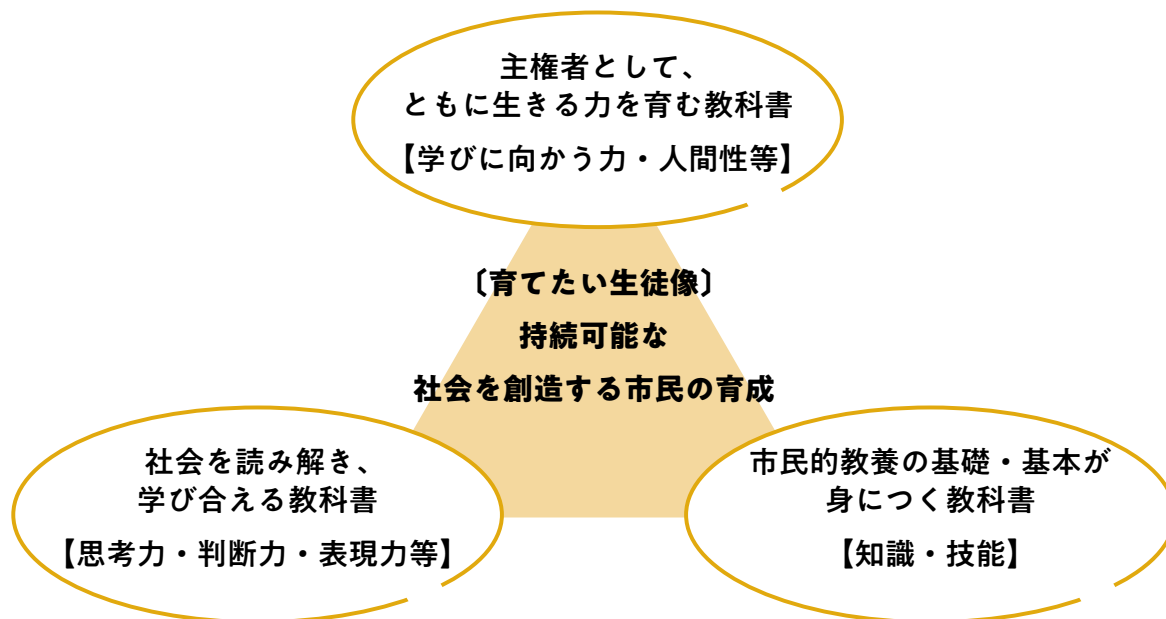
「未来への窓」の向こうにある子どもたちの可能性を、私たちと一緒に広げていきませんか。



上のフレームは“先生”、下のフレームは“教育出版”を表しています。先生と教育出版で、この窓の向こうに広がる新しい世界を子どもたちに見せてあげたい。「未来への窓」には、そのような思いを込めています。

教科書編集の基本方針

この教科書は、教育基本法第二条に示された教育の目標及び学習指導要領に示された歴史的分野の目標を達成するために、以下の柱と三つの方針に基づいて編集しています。



CONTENTS

特色1 社会を読み解き、学び合える教科書

- 1 「見方・考え方」をはたらかせた学びや資料の活用を支援する学習コーナー …p.2
- 2 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成 …p.4
- 3 学習の流れを見通しやすく、思考・判断・表現する場面を適切に位置づけたページ構成 …p.6

特色2 市民的教養の基礎・基本が身につく教科書

- 1 主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容 …p.8
- 2 社会をより深く理解できる、3分野の学びが関連した内容・構成 …p.10
- 3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容 …p.12

特色3 主権者として、ともに生きる力を育む教科書

- 1 社会的な課題を多面的・多角的に捉え、考察できる教材・内容 …p.14
- 2 小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成 …p.16
- 3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫 …p.18

教師用指導書／デジタル教科書・デジタル教材の紹介 …p.20

著者の紹介 …裏表紙

教科書の冒頭に位置づけた「歴史にアプローチ」

～歴史の見方・考え方と学習の進め方～

p.8-9

小学校での学習の進め方や「見方・考え方」を踏まえつつ、中学校の歴史での学習の進め方につなげるためのページを、教科書の冒頭に設定しました。小学校社会科からのスムーズな接続を図るとともに、生徒が「歴史的な見方・考え方」を意識的に使いこなせるようになるまで、何度も振り返って活用していただけるページです。



▲ p.158

「歴史にアプローチ」では、小学校での学習を思い出しやすいp.158「ペリー来航」の学習を素材とし、具体的に「見方・考え方」の活用を示しています。

歴史にアプローチ ～歴史の見方・考え方と学習の進め方～

私たちが歴史にアプローチしようとするとき、身近にあるのが、今読んでいる教科書です。ここでは教科書の文章に問いかけながら、小学校の社会科でも学んだ見方・考え方をさらに発展させて、歴史の理解を深める学習の進め方を学びましょう。

さあ、教科書を読んでみよう

教科書 p.158 を例に、文章に問いかけながら読んでみましょう。

カリフォルニアまで領土を拡大したアメリカは、太平洋へ乗り出し、捕鯨船や中国との貿易船の寄港地として、日本を開国させる考えを強めました。そして、東インド艦隊司令官ペリーを派遣し、大統領の国書を日本政府に渡すことになりました。ペリーは、琉球(沖縄県)に寄港したのち、1853年、4隻の軍艦を率いて浦賀(神奈川県)沖に現れました。幕府は、オランダ商館から事前に来航の情報を得ていましたが、軍艦の威力をおそれて国書を受け取り、翌年の回答を約束しました。

教科書の文章の気になったところに、問いを投げかけてみよう。



さまざまな問いを投げかけてみよう

問いには、たくさんの種類があります。問いはわからないことを理解するときだけでなく、より理解を深めるときにも役立ちます。例を参考に、いろいろな角度から問いを考えてみましょう。

だれが? (何が?) いつ? どこで?

何を? どのように? なぜ?

- 何のため? (目的・意図)
- 本来にどうなの? (確認)
- 例えは? (具体化)
- 一般には? (抽象化)
- 論拠は?
- そもそもは? (原点確認)
- もし自分だったら? (立場)
- 他の選択肢は?
- 似ているものはない? (比較)
- すでに前例はない? (先行事例)
- 逆にしてみると? (逆転)
- 一見関係ないけれど、つながりは? (関連)

- 捕鯨船って何だろう。なぜクジラを捕らえていたのだろう。
- カリフォルニアはどこにあるのだろう。地図で確認してみよう。
- 「太平洋に乗り出した」と書いてあるけど、それまでは通ったのかな。
- ペリーが浦賀の前に琉球に寄ったのは、なぜだろう。どのようなルートで向かったのかな。
- これまでも外国船が日本に近づいていたと聞いたけれど、なぜペリーへの幕府の対応は違ったのかな。
- 国書って何だろう。どのようなことが書いてあるのだろう。
- オランダ商館からどのような情報を聞いていたのだろう。みんなペリーが来ることを知っていたのかな。

問いかけながら読むと、教科書をきっかけに視点が広がり、理解も深まるね。

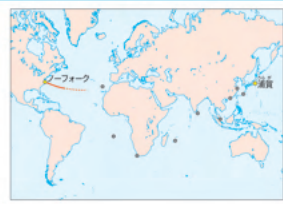


「歴史的な見方・考え方」

小学校の歴史学習では、主に歴史上の人物の目ざしたことや行動に注目してきました。中学校では、人物の目ざしたことや行動の背景にも視野を広げ、世界や日本全体、身近な地域との関連も踏まえながら歴史を見たり、考えたりしていきます。そのために求められる「歴史的な見方・考え方」を紹介します。

時期や推移

- いつ(どの時期)のできごとだろう。
- 前の時代から、どのように変化・発展したのだろう。
- なぜ、この時期に変化したのだろう。
- 流れをまとめると、どうなるだろう。



例 ペリーが日本に到着するまでの流れを表すために、p.159の地図を参考に、ペリーの航路を世界地図に書き込んでみよう。そして、気づいたことを話し合おう。

比較

- ○○と△△を比べると、どのような共通点や違いがあるだろう。
- その共通点や違いから、どのような特色があるといえるだろう。
- なぜ違いが生じたのだろうか、理由はなんだろう。
- 他の時代・地域では同じだろうか、違うだろうか。



例 ペリーの写真と絵を比べてみよう。どのような違いがあるだろう。みんなで見出し合い、違いが生まれた理由を考えてみよう。

関連

- できごとが起こった原因や、社会的な背景はなんだろう。
- できごとの結果や、社会への影響、現代への影響は、どのようなものだったのだろう。
- 世界のできごとや身近な地域のできごととの関連を探ってみよう。



例 ペリーはなぜ日本に来たのだろう。幕府はなぜペリーを追い返さなかったのだろう。開国した結果、日本はどのように変わっていくのだろう。

関連

- できごとが起こった原因や、社会的な背景はなんだろう。
- できごとの結果や、社会への影響、現代への影響は、どのようなものだったのだろう。
- 世界のできごとや身近な地域のできごととの関連を探ってみよう。

例 ペリーはなぜ日本に来たのだろう。幕府はなぜペリーを追い返さなかったのだろう。開国した結果、日本はどのように変わっていくのだろう。

「歴史的な見方・考え方」を学習の中で活用しやすいよう、わかりやすくまとめて掲載しています。

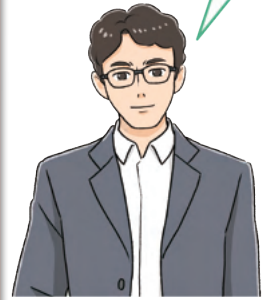
「見方・考え方」をはたらかせた学びや資料の活用を支援する学習コーナー

視点や方法を意識的にはたらかせながら学習を進めていくための紙面や、資料活用の技能を身につけるためのコーナーを設定し、思考や理解を深めながら学習を進めていくことができるように配慮しました。

「歴史的な見方・考え方」をはたらかせる章の「導入」・「まとめ」

時代を大観したり、時代と時代を比較したりする各章の「導入」と「まとめ」では、より「見方・考え方」を意識することができるように工夫しました。

p.9も参考に、「歴史的な見方・考え方」を活用しましょう。



▲ p.58

STEP1 資料を読み解いて、近世の時代を振り返ろう【読解力・判断力・表現力】

- 絵の右側に描かれている大型船は、どこかの国の船で、どのような目的で来航したのだろうか。
- 絵の中央に描かれている屋形の船では、どのような建物が建てられていて、何が行われたのだろうか。
- 江戸時代の日本は、どのような島で、どのようなつながりをもっていたのだろうか。
- 中世から江戸時代にかけて、日本と外国との関係はどのように変化したのか、またその理由はなぜか考えよう。

JUMP! 「歴史的な見方・考え方」を使って、時代の特徴を考えよう【読解力・判断力・表現力】

■ 転換点はどこで (見方・考え方) 8. 幕府、正統
第3章で学習した、
「転換点」はどこで、中世と近世の違いから考えてみよう。

中世と近世は、()という違いがある。
中世から近世に変わったのは、()とき/ため。

■ 「第4章の問い」について考えよ (見方・考え方) 9. 開港
第4章の問い、近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか。

■ 第4章の内容を深めよ (見方・考え方) 3. 開港
江戸幕府は、なぜ安定し、()ことができたのだろうか。

第5章 日本の近代化と国際社会

▲ 江戸湾に現れた幕府 (長崎国立歴史民俗博物館)

時代の変化に注目! 上の絵は、1853年にアメリカ船が江戸湾に突如出現した時の様子です。前のページの絵と比べると、様子が大きく異なるようです。この時期に日本をとりまく環境がどのように変化したのか、これから学習していきましょう。

▲ アメリカ船とオランダ船は、どのようなところが違うだろう。その違いから、17世紀以降の欧米でどのような変化が起こったか、予想してみよう。

▲ 手前の武士たちは、何をしているのだろうか。会話の内容を想像してみよう。

▲ このできごとの後、日本の政治や社会はどのように変化したか、予想してみよう。

これからの学習する時代

時代	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910	1920
日本	江戸時代	幕府時代	明治時代	大正時代				
中国			清				中華民国	
材料			朝鮮				韓国 (日本領)	

これからの学習に登場する場所

◀ p.142 〈4章まとめ〉 - 143 〈5章導入 (とびら)〉

見方×考え方 まとめの帰結部「JUMP!」では、生徒に意識してほしい「見方・考え方」を、アイコンとともに示しています。

資料の読み解きを通して時代と時代を大まかに比較し、変化の理由を考えさせる活動です。学習の動機づけとともに、「見方・考え方」をはたらかせたり、時代を大観したりする活動の定着を図ります。

歴史の技

絵や写真、新聞、地図や系図など、歴史学習の中で活用する機会が多い資料について、資料活用の方法や手順を示しています。教科書中8か所に設けています。

歴史の技

系図を読み解こう

系図は、一族の代々の系統を表した図です。一般的には上から下に連なって書かれていて、縦のつながりは親子関係を、横のつながりは兄弟姉妹関係を示します。二重線は婚姻関係(結婚)を示します。

系図からは、歴史上の人々の関係性などを読み取ることができます。

6の系図から、聖徳太子と蘇我馬子は、どのような関係といえるだろう。



歴史の技

新聞を読み解こう

新聞は、日本では幕末以降に現れたメディアで、日付が特定できることも特徴です。当時のできごとや、それを世の中がどのように受け止めたかを読み取ることができます。

6 富士で起こった騒動を報じる新聞 (1918年8月5日)

▲ p.219



新聞を読み解こう

つまり1918年の8月5日月曜日の新聞です。

◀ p.41

特色 1

2 見通し・振り返りの学習活動に
取り組みやすい内容構成

見通し・振り返りの学習場面をいっそう充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現しやすい構成にしました。「問い」を軸にしたさまざまな活動を通じて、より深い理解を促すことができます。



1

1 章の学習を見通す導入ページ「学習のはじめに」 p.95-97

当時の人々の暮らしの様子がわかる資料を中心に、導入ページを構成しました。資料の読み解きの活動を通じて、生徒が興味・関心を高めながら、「章の問い」や章の学習の見通しにつながっていくよう工夫しています。

第4章 近世の日本と世界

時代の変化に注目!
上の地図は、17世紀前半の江戸城とその周辺の様子です。江戸幕府の政治は、江戸城を中心に行われました。室町時代の政治は、12世紀の初めにつくられるようにになり、全国で使われていました。これからは、室町時代の政治の中心地である江戸城と、戦国時代の政治の中心地である京都を比べてみましょう。戦国時代の政治は、どのように変化したでしょうか。また、日本で貨幣がつかれるようになったのは、なぜでしょうか。室町時代から江戸時代にかけて、社会はどのように変化したのか考えてみましょう。

これからの学習に登場する場所

時代	1500	1600	1700	1800
日本	室町時代	戦国時代	江戸時代	
中国				
朝鮮				

近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか。

学習の見通し

- 11 結びつく世界との出会い
- 12 イスラムの伝来、幕府、徳川幕府
- 13 天下統一への歩み
- 14 幕府・藩制、身分制、幕府文化
- 15 幕府体制の確立と（幕府）
- 16 幕府体制、藩制、徳川幕府
- 17 経済の成長と幕府の改革

産業・流通の発達、幕府の改革、内閣制の確立

前の章と比べる

章の学習内容を見通す

1 導入ページ

2

2 学習内容を理解しやすい
「本時ページ」 p.130-131

見開き2ページ=1時間ごとに「学習課題」（学習の見通し）と、「確認／表現」（振り返り）を設け、生徒の主体的な学習を促します。

学習課題
幕府政治の改革が行われるなかで、人々の暮らしはどのように変化したのでしょうか。

確認
享保の改革では、どのような政治が行われたか確かめよう。

表現
百姓一揆や打ちこわしが起こるようになった理由について説明しよう。

15 連判状にまとまる人々
幕府の財政が窮乏化するなか、1716(享保元)年に8代将軍となった徳川吉宗は、幕府の政治を刷新し、政治と財政の立て直しに取り組みました(享保の改革)。買戻・保約をかけた支出をおさえ、収入を増やすために新田開発を進め、農村・不作に備える一定の年貢を取り立てるようになり、安泰の定まりました。享保には、一時的に幕府の財政が好転しましたが、米を修正させました(上げ米の制)。武士には武士を助め、天明騒動を好転し取り立てるなど、有能な人材を重用しました。また、江戸に自給自足を推進して幕府の意見も取り入れ、幕府の財政を刷新し、平田源助の洋書の輸入を認めました。この改革により、幕府政治は一時的に立ち直りました。農村では、各地で結核・痘など、疫病や凶作に悩まされ、色に染みられる作物の栽培が盛んになりました。幕府の政治や経済も盛んになり、幕府(幕府)や幕府(幕府)でも農産物の生産されるようになりました。都市では、幕府(幕府)を中心とした商品生産が盛んになりました。こうした農産物による現金収入によって、生活物資や農具、肥料を購入し、年貢を賄ったこともありました。農民は、自ら農産物の要求の一部額、都市や農村のために直して買いました。

2 幕府の改革
幕府の財政が窮乏化するなか、1716(享保元)年に8代将軍となった徳川吉宗は、幕府の政治を刷新し、政治と財政の立て直しに取り組みました(享保の改革)。買戻・保約をかけた支出をおさえ、収入を増やすために新田開発を進め、農村・不作に備える一定の年貢を取り立てるようになり、安泰の定まりました。享保には、一時的に幕府の財政が好転しましたが、米を修正させました(上げ米の制)。武士には武士を助め、天明騒動を好転し取り立てるなど、有能な人材を重用しました。また、江戸に自給自足を推進して幕府の意見も取り入れ、幕府の財政を刷新し、平田源助の洋書の輸入を認めました。この改革により、幕府政治は一時的に立ち直りました。農村では、各地で結核・痘など、疫病や凶作に悩まされ、色に染みられる作物の栽培が盛んになりました。幕府の政治や経済も盛んになり、幕府(幕府)や幕府(幕府)でも農産物の生産されるようになりました。都市では、幕府(幕府)を中心とした商品生産が盛んになりました。こうした農産物による現金収入によって、生活物資や農具、肥料を購入し、年貢を賄ったこともありました。農民は、自ら農産物の要求の一部額、都市や農村のために直して買いました。

3 幕府の改革
幕府の財政が窮乏化するなか、1716(享保元)年に8代将軍となった徳川吉宗は、幕府の政治を刷新し、政治と財政の立て直しに取り組みました(享保の改革)。買戻・保約をかけた支出をおさえ、収入を増やすために新田開発を進め、農村・不作に備える一定の年貢を取り立てるようになり、安泰の定まりました。享保には、一時的に幕府の財政が好転しましたが、米を修正させました(上げ米の制)。武士には武士を助め、天明騒動を好転し取り立てるなど、有能な人材を重用しました。また、江戸に自給自足を推進して幕府の意見も取り入れ、幕府の財政を刷新し、平田源助の洋書の輸入を認めました。この改革により、幕府政治は一時的に立ち直りました。農村では、各地で結核・痘など、疫病や凶作に悩まされ、色に染みられる作物の栽培が盛んになりました。幕府の政治や経済も盛んになり、幕府(幕府)や幕府(幕府)でも農産物の生産されるようになりました。都市では、幕府(幕府)を中心とした商品生産が盛んになりました。こうした農産物による現金収入によって、生活物資や農具、肥料を購入し、年貢を賄ったこともありました。農民は、自ら農産物の要求の一部額、都市や農村のために直して買いました。

2 本時ページ

「章の問い」を振り返る

資料を読み解いて、近世の時代を振り返ろう【思考力・判断力・表現力】



- 絵の右側に描かれている大型船は、どこかの国の船で、どのような目的で来航したのだろうか。
- 絵の中央に描かれている層層の船では、どのような建物が建てられていて、何が行われたのだろうか。
- 江戸時代の日本は、どの国と、どのようなつながりをもっていたのだろうか。
- 中世から江戸時代にかけて、日本と外国との関係はどのように変化したのか、またその理由はなぜか考えよう。

JUMP! 「歴史的新見、考え方」を使って、時代の特色を考えよう【思考力・判断力・表現力】

- 転換点はどこだろう【思考力・判断力】(幕府、正統)
- 第3章で学習した中世と、近世との転換点はどこだろう。中世と近世の違いから考えてみよう。

中世と近世は、()という違いがある。

中世から近世に変わったのは、()とき/ため。

「第4章の問い」について考えよう【思考力・判断力・表現力】

第4章の問い 近世の日本は、どのような政治のしくみをつかったのだろうか。

- 第4章の内容を深めよう【思考力・判断力】(比較、調査)
- 江戸幕府は、なぜ安定した政権を維持することができたのか。

142 第4章 近世の日本と世界

第5章 日本の近代化と国際社会

振り返ってまとめた学習を次章の学習につなげる p.143



↑江戸湾に現れた幕艦 (幕艦(黒船)と幕艦(黒船))

アメリカ船が江戸湾に来た目的はなんだろう。

時代の変化に注目! 上の絵は、1853年にアメリカ船が江戸湾に来航した時の様子です。前のページの絵と比べると、船が大きく異なるように見えます。この時期に日本をとりまく状況がどのように変化したのか、これから学習していきましょう。

- アメリカ船とオランダ船は、どのようなことが違っていたか、17世紀以降の欧米でどのような変化が起こったか、予想してみよう。
- 手前の武士たちは、何をしているのだろうか。会話の内容を想像してみよう。
- このできごころ後、日本の政治や社会はどのように変化したか、予想してみよう。



次の章へ

4 学習を振り返るページ

4 章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」 p.140-142

章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の確実な定着を促します。また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置づけ、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようになっています。

3 特設ページ

人口100万都市「大江戸」の暮らしの工夫



江戸は日本人で賑わっている江戸の人々の暮らしを再現する特設ページです。江戸の暮らしを再現する工夫について、資料を読み解いてみましょう。

江戸の食 江戸にまちがつくられてから、建築・土木の仕事が増え、地方から多くの労働者が働きにやってきました。江戸の食生活は、江戸の発展を支えてきました。江戸の食生活について、資料を読み解いてみましょう。



138 第4章 近世の日本と世界

江戸の水

多くの人が集まっている江戸には、水が足りなかった。江戸の水の確保は、江戸の発展を支えてきました。江戸の水の確保について、資料を読み解いてみましょう。



江戸の水の確保は、江戸の発展を支えてきました。江戸の水の確保について、資料を読み解いてみましょう。

3 視点を変えて捉えなおす「特設ページ」 p.138-139

本時で学習した内容について、視点を変えて捉えなおすことができるテーマを設定しました。生徒が現代社会の諸課題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるよう工夫しています。

流れ

特色 1

3 学習の流れを見通しやすく、思考・判断・表現する場面を適切に位置づけたページ構成

見開き2ページ=1時間の中に、本文・資料・学習活動をバランスよく位置づけ、より学びやすい紙面にしました。資料を読み解く手がかりを示すなど、生徒が自ら学ぶことができ、**確かな学力**を獲得できるよう工夫しています。

2 1時間の学習を見通す「学習課題」・「時代スケール」

学習課題では、この時間の学習で何について追究していくのか、学びの見通しをもてる課題を示しました。

時代スケールは、この時間で学習する時期を意識し、歴史の大きな流れと関連づけるために活用できます。

1 学習のきっかけとなる「導入」・「タイトル」

学習内容の中心となる資料を大きく掲載し、生徒の興味・関心を高めます。資料を読み解く視点のヒントをキャラクターの言葉として示し、すべての生徒が意欲的に取り組めるようにするなど、授業で活用しやすい導入部にしました。

タイトルには、学習内容を象徴するような言葉を用い、生徒が自ら「知りたい・考えたい」と意欲を高められるよう工夫しています。

米価の変動は、人々にどのような影響を与えたのかな。

3 徳川吉宗
〈徳川記念財団蔵〉

2 18世紀前半の米価の変動

3 理解しやすい「本文」

平易な表現で、できごとの関係性を捉えやすく、生徒が学習内容を理解しやすい読んで「わかる」文章です。

4 理解を深める「資料」

本文と関連する地図・写真・図などの豊富な資料により、学習内容についてイメージを伴ってより深く理解することができます。本文と資料の関連を番号で示し、本文と資料を結びつけて学習を進めることができます。

15 連判状にまとまる人々
▶ 享保の改革と社会の変化

4 公事方御定書 (1742年 一部要約)

5 木綿の機織をする農家

15 品作物による現金収入によって、生活物資や農具、肥料を購入、年貢を貨幣で納めることも広がりました。農民は、自ら調達した

幕府の財政が悪化するなか、1716(享保元)年

幕府政治の改革が行われるなかで、人々の暮らしはどのように変化したのでしょうか。

130 第4章 近世の日本と世界

資料を活用し、学び合いを支援する 歴史の技・Q・THINK!

資料を活用しながら学習を深められるように、資料の読み解きを支援するコーナーを設けました。「歴史の技」(→本資料p.3で解説)や、資料に対する発問である「Q」のほか、「THINK!」では、資料を読み解く視点を問いの形で示し、生徒が自ら資料を活用する力を育みます。

歴史の技

狂歌を読み解こう

民衆は、こっけいや政治批判を取り入れた狂歌(狂歌)をよみました。このような狂歌からは、当時の政治を人々がどのように見ていたかを読み取ることができます。

Q1 一と二の狂歌は、それぞれ田沼と松平のどちらの時代のことをよんだものだろう。

Q2 三の狂歌は、どのようなことを諷刺しているだろう。狂歌の意味を自分なりの言葉で説明しよう。



▲ p.133

THINK!

- ① ③の絵で、働く人たちは、それぞれどのような作業をしているだろう。
- ② p.130の「木綿の機織をする農家」と比べて、働いている人々や生産方法にどのような違いがあるだろう。
- ③ それぞれの生産方法の利点を説明してみよう。

▲ p.135



5 木綿の機織をする農家
(『内閣文庫蔵』国立国会図書館蔵)
Q 描かれた人々は、それぞれ何をしているだろうか。

▲ p.130

〈学びを助ける三本の柱〉～資料をきっかけとした深い学び～

LOOK!

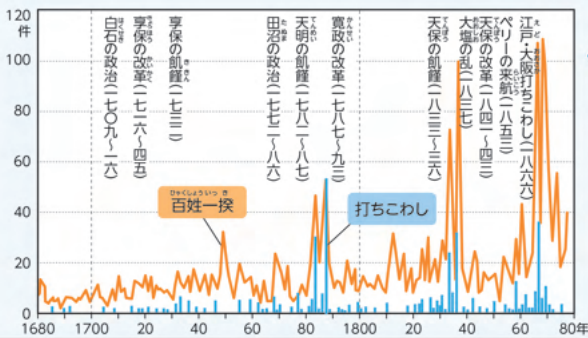
「学習のはじめに」に掲載
(→本資料p.8で解説)

THINK!

「本時ページ」に掲載

TRY!

「特設ページ」に掲載
(→本資料p.15で解説)



6 百姓一揆・打ちこわしの発生件数の移り変わり(「百姓一揆総合年表」)



7 牽連判状

1756年に美濃(岐阜県)で起こった一揆で、一揆の参加者が署名したものです。なぜ、名前をだ円形に書いたのでしょうか。

8 二宮尊徳

(経済博物館蔵) 勤勞・倹約を奨励するなどして、幕府・諸藩による農村の復興に取り組みました。



確認! 享保の改革では、どのような政治が行われたか確かめよう。

表現! 百姓一揆や打ちこわしが起こるようになった理由について説明しよう。

原料を布などの製品に加工して問屋に売っていましたが、やがて問屋が道具や原料などを農民に貸し出して布を織らせ、製品を買い取るようになりました。これを問屋制家内工業といいます。

農村にも貨幣経済が広まるなか、天候不順による不作や商品価格の下落によって生活が苦しくなった百姓たちは、田畑を質入れして借金するようになりました。それを返せずに土地を手放して小作人になる者や、土地を買い集めて地主となる者も現れ、農民の間に貧富の差が拡大していきました。

百姓一揆と打ちこわし 財政の悪化に苦しむ幕府や藩は、年貢を引き上げたり、商品作物を統制して新たな税をかけたりました。ますます困窮した百姓たちは団結し、年貢の引き下げや代官の交替を訴えて、百姓一揆を起こし、大勢で城下に押しかけることもありました。また、都市でも困窮した町人たちが、米を買い占めて米価をつり上げた商人に対し、打ちこわしを行いました。幕府や藩は、一揆の指導者を厳しく処分しましたが、その要求を一部認め、都市や農村の立て直しを図りました。

歴史の窓

野国總管と青木昆陽～飢饉から人々を救った甘藷(さつまいも)

江戸時代には、大きな飢饉がたびたび起こり、多くの人々に被害をもたらしました。そのため、飢饉に備える作物として、天候の影響を受けにくく、やせた土地でも育つ甘藷の栽培が始められました。アメリカ大陸が原産地の甘藷は、17世紀の初めに、琉球の野国總管が中国からもたらしました。野国村(現在の沖縄県嘉手納町)出身の總管は、中国への進貢船(→p.122)の事務長という役職を務めていた人物です。やがて、甘藷は琉球から薩摩藩に伝えられましたが、享保の飢饉をきっかけに、江戸の青木昆陽が甘藷に注目し、その効用などを書物に著しました。幕府の命を受けた昆陽が、薩摩藩から取り寄せた種いもをもとに、甘藷の栽培に成功したことから、甘藷は、さつまいもの名で各地に広まりました。



野国總管の像

5

本時の学習をまとめる「確認」と「表現」

学習課題に対応した2段階の問いで、本時の学習を振り返り、基礎・基本の確実な定着を支援します。

確認!

学習を振り返って整理するステップです。

表現!

学習内容を自分の言葉で説明したり、対話したりすることで深い学びへとつなげるステップです。

6

視点を変えて捉えなおす 歴史の窓

本文とは視点を変えて学習内容を捉えなおすことができます。歴史的事象について、生徒の多面的・多角的な思考や理解を促します。

good

自己と歴史との関係について考えを深められるページ

生徒が自分たちと歴史のつながりを意識できる「私たちにつながる歴史」(巻頭1・2)や、歴史の大きな流れの中でも生徒が実感をもちやすい、人々の暮らしの様子に焦点を当てた「学習のはじめに」(各章冒頭)など、歴史を身近に感じられるページを充実させました。

私たちにつながる歴史

さまざまな人々の暮らしで、伝統文化が受け継がれてきたんだね。

数ヶ月前に読んだアイヌ民族の伝統行事「アサマシ」

福岡の安全や健康を守る屋敷の伝統行事「屋敷踊り」で、高輪船を漕ぎ、美しい人々たち(高輪船踊り)

長崎くんちで華やかな舞を踊る人々たち(長崎くんち)

日光東照宮の「三猿」の舞を踊る子供たち(日光東照宮)

中絶防止の啓蒙を目的に、情報作業が求められる(熊本県)

人々の政治参加のあり方

明治時代の選挙(広島)

戦後初めて行われた衆議院議員選挙

戦後初めて行われた衆議院議員選挙

地域を結ぶ江戸時代の瓦版

メディアの多様化

家庭に普及したラジオ(茨城)

歴史の中で、さまざまな変化が

これほど大きな城を築くことができたのは、なぜだろう

江戸のまちの暮らしを見よう。

江戸のまちには江戸川(荒川と荒川支流)が流れている。

江戸時代は、約200年間も続きました。江戸幕府は、どのように統治し、なぜ統一が実現したのかを学んでいきましょう。

また、「江戸幕府」に描かれているように、江戸時代には、関ヶ原の戦いである江戸のまちが栄え、多くの人やものが集まりました。江戸のほか、天保、安永を中心に、全国各所で都市が発展していった。幕府の政治は、人々の暮らしにどのような影響を与えたのでしょうか。

近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか。

学習のねらい

- 111 江戸が「世界との出会い」
- 112 イスラムの伝来、蘭学、蘭館、蘭学塾
- 211 天下統一への歩み
- 212 幕府・幕閣の成立、幕府文化
- 311 幕府体制の確立と「鎖国」
- 312 幕府の成長と幕府の政治

資料・画像の出典：『幕府の政治』、『江戸の政治』

▲ 巻頭1・2

原始や古代の人々は、どのような暮らしをしていたのだろうか

縄文時代

縄文時代とは、縄文時代の初期には、どのような暮らしをしていたのだろうか。人々はどのように暮らしていたのか、想像しよう。

縄文時代とは、縄文時代の中期や後期になると、どのような暮らしがあったのだろうか。なぜそのような暮らしが生まれたのだろうか。

人々の暮らしはなぜこのように変化したのか、予想してみよう。

縄文土器(縄文土器)

縄文土器(縄文土器)

縄文土器(縄文土器)

古墳時代

古墳時代の人々の暮らし

土器と埴輪は、それぞれ異なる役割を担った。その役割を、想像しよう。

埴輪(埴輪)

埴輪(埴輪)

埴輪(埴輪)

人類は、いつから「人類」としての歴史を歩み始めたのでしょうか

学習のねらい

- 111 人類の起源と文明のあり方
- 112 縄文時代・縄文文化
- 211 縄文時代の政治と文化
- 212 日本の政治のしくみと歴史

LOOK!

〈学びを助ける三本の柱〉(→本資料p.7)の一つである「LOOK!」を、各章の「学習のはじめに」に設けています。追究のきっかけとなる視点を問いの形で示し、資料から人々の暮らしの様子を読み解く支援をしています。

▲ p.20-21

▲ p.96-97

主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容

現代社会を生きる生徒たちが、さまざまな現代の課題について、歴史の流れをふまえて考察することができるように工夫しました。また、地域社会と関わりながら学習できるページを充実させました。

政治や人権の歴史を捉えやすい紙面

生徒が、現在の政治や人権について、歴史の流れに位置づけながら思考・理解を深めることができるよう、政治や人権の来歴を取り扱うページを充実させました。本時ページでは、各時代の政治や人権の動きを学習しやすい構成を工夫しました。特設ページでは、女性や民衆など、政治・社会に参画した人々の姿を取り上げました。

働く女性や子どもたち

江戸の社会では、人や職業によって「階級」があり、大人、若、童(男性・女性の別あり)というように分けられていました。大人、男性とともに、女性や子どもも社会の中で働く、欠かせない存在でした。どのような仕事で活躍していたのか調べてみましょう。



女性や子どもと商工業

江戸の社会には、高島屋をかたがた大人の男性が、女工の仕事をしている様子が見られます。よく見ると、子どもたちが、材木に目印をつける墨づけという作業や、水平かどろかきを削る水もりという作業を手伝っている姿が描かれています。五輪の木工道具の近くには、遊んでいる子どももいます。子どもたちは、まだ大人ではないため、商売をかたがたしません。このように、子どもたちは7歳ぐらいから仕事を手伝うようになり、仕事を覚えながら育ちました。特に墨づけや水もりなどの最前線の職能や、惣持を売る商人には女性が多かったことが文獻資料からも確認できます。当時、女性も男性と同様に、商業や商工業など、暮らしには欠かせないさまざまな仕事に参画していたのです。



歴史の窓 オホーツク文化と擦文文化

樺太(サハリン)から根室半島、千島列島にかけてのオホーツク海沿岸の地域には、5世紀ごろから、漁や、アザラシ・トド・クジラなどの狩猟を営み、犬や豚を飼って生活を営む人々が現れました。この地域の人々は、独自の特徴をもつ土器を作り、9世紀ごろまでの間、オホーツク文化を形づくっていました。また同じころ、北海道から東北地方の北部にかけて、木片でこすった文様がある土器を使用する擦文文化が形づくられました。漁や狩猟、採集、粟や稗などの農耕を生業とする擦文文化は、13世紀ごろまでにはアイヌ文化へと発展していきました。



7 海の動物の牙で作られたクマの像
(網走市立土器博物館蔵)

TRY

江戸の絵に描かれている人々は、それぞれ何をしているだろうか。見つけたことをグループで共有しよう。

現在に伝わる、田舎や山奥にまつわる仕事について調べよう。




▲ p.81

▲ p.88-89



3 フランスで開催された「ジャパンエキスポ」(2017年)

社会と関わる人々の様子を多数掲載した現代史 p.278-281

災害時における共助・公助の場面、国際支援や文化交流の様子など、現代に生きる人々の多様な社会との関わりについて、扱いを充実させました。



4 被災地で救援活動を行う自衛隊員や他県から駆けつけた警察職員 (2016年 熊本県益城町)



7 ウクライナから逃れてきた人々との交流イベント(2022年 愛知県名古屋)



5 被災者に炊き出しを行うボランティアの人たち(1995年 兵庫県神戸市)

特色

2

2 社会をより深く理解できる、3分野の学びが関連した内容・構成

コラム「歴史の窓」では、本文とは異なる視点から歴史を捉えなおし、資料を活用しながら多面的・多角的に考察することができるように工夫しました。小・中学校を通じた社会科の学びのゴールである公民を見据え、現代社会につながる歴史的事象や課題の扱いも充実させています。

歴史の窓 宋と高麗

10世紀後半に中国を統一した宋(←p.50)は、12世紀前半に、北方におこった金との戦いに敗れ、都を南に移しました(南宋)。宋では、長江以南でも新田の開発が進み、新たな都市が発達しました。茶や陶磁器などの生産も盛んになり、銅の貨幣(宋銭)とともに日本に輸出されました。また、木版印刷が広まり、火薬や羅針盤が実用化されるなど、科学技術が発達しました。仏教では、禪宗や浄土宗が教にも影響を与えました。儒教では、学問にじる朱子学が確立されました。

10世紀前半に朝鮮を統一した高麗(←p.50)が保護し、経典が版木にほられて印刷されられる美しい磁器も作られ、これらは日本にも輸出されました。

日宋貿易の行路
平氏が朝廷から支配を認められたところ

12世紀の東アジアと日宋貿易

学習内容の背景や影響を考えることができる

歴史の窓

本文で学習した内容について、その歴史的事象の背景や影響を扱うコラムです。全体で19テーマを設けています。

このページの本文では平氏政権を取り上げていますが、「歴史の窓」では、日宋貿易の相手国である宋の科学技術や文化などについて扱っています。

▲ p.65

このページの「歴史の窓」では、冷戦下の核開発や高度経済成長期の公害問題などと、特撮映画とのつながりを取り上げ、社会的なできごとが文化にも影響を与えていることに気づける内容になっています。

歴史の窓 ゴジラが見た日本社会

特撮映画「ゴジラ」の第1作は、1954年11月に公開されました。ゴジラは、南太平洋の海底で生き残った太古の生物で、水爆実験によって眠りから覚め、水爆のエネルギーを体にとめた怪物となって人類を襲うという設定でした。同年3月には、アメリカが太平洋のビキニ環礁で水爆実験を行って、日本のマグロ漁船第五福竜丸が被ばくし、原水爆禁止運動が高まっていた(←p.261)。冷戦下の核開発と、反核運動の高まりのなかで映画は公開されたのです。

1971年に公開された第11作「ゴジラ対ヘドラ」は、汚染された海のヘドラを食べて巨大化する怪物ヘドラとゴジラが戦う設定で、高度経済成長期に発生した公害問題(←p.269)を背景にしています。エンターテインメント性の高い特撮映画にも、当時の社会問題が映し出されています。

このページの「歴史の窓」では、冷戦下の核開発や高度経済成長期の公害問題などと、特撮映画とのつながりを取り上げ、社会的なできごとが文化にも影響を与えていることに気づける内容になっています。

戦後、GHQは占領政策の範囲内で言論の自由を認めたため、新聞・雑誌・書籍の出版が盛んになりました。占領の影響で、ジャズ音楽やハリウッド映画などのアメリカ文化が広まり、人々に親しまれました。新築や文化は戦争中の統制が解かれ、街には「リンゴの唄」などの明るいメロディが流れ、人々に解放感を与えました。

また、黒澤明などの映画が海外でも高く評価され、1949(昭和24)年に、物理学者の湯川秀樹が日本人として初めてノーベル賞を受賞するなど、人々を元気づけるできごともありました。

戦後、戦前から普及していたラジオと映画が大衆の娯楽の中心でしたが、1953年にテレビ放送が始まるなど、高度経済成長期にテレビが急速に普及しました。テレビによって、芸能やスポーツなども家庭で楽しめるようになり、歌手の美空ひばりや、プロ野球の長嶋茂雄や王貞治、大相撲の天鵬、プロレスの丹阿彌谷津夫などが人気を集めました。テレビが発達すると、世界のできごと早く伝わるようになります。

戦後の1947年、戦中に発見された豊后道跡の発掘調査が行われ、弥生時代の集落や水田の跡が発掘されました。一方で、戦後復興や経済成長のなかで開発が優先され、多くの遺跡が調査されなくなりました。そうしたなか、1949年に法隆寺金堂の壁画が損傷したことをきっかけに、翌年、文化財保護法が制定されました。平城宮、法隆寺の瓦葺き屋根、高麗経済成長

マスコミは、「集団」を意味する言葉です。新聞・雑誌・ラジオ・テレビなど、多数の人々に、多くの情報を送るための情報伝達の媒体・手段をマスメディアといいます。

戦後、日本の外交関係や経済が変化した歴史の中で、特に重要だと考えられるできごとや出来事を、下の「キーワード」にも参加して、p.262～271から一つ選ぼう。また、その理由を説明しよう。

2 世界の多様化と日本 271

▲ p.270-271

歴史の窓 ゴジラが見た日本社会

怪獣映画「ゴジラ」の第1作は、1954年11月に公開されました。ゴジラは、南太平洋の海底で生き残った太古の生物で、水爆実験によって眠りから覚め、水爆のエネルギーを体にとめた怪物となって人類を襲うという設定でした。同年3月には、アメリカが太平洋のビキニ環礁で水爆実験を行って、日本のマグロ漁船第五福竜丸が被ばくし、原水爆禁止運動が高まっていた(←p.261)。冷戦下の核開発と、反核運動の高まりのなかで映画は公開されたのです。

1971年に公開された第11作「ゴジラ対ヘドラ」は、汚染された海のヘドラを食べて巨大化する怪物ヘドラとゴジラが戦う設定で、高度経済成長期に発生した公害問題(←p.269)を背景にしています。エンターテインメント性の高い特撮映画にも、当時の社会問題が映し出されています。

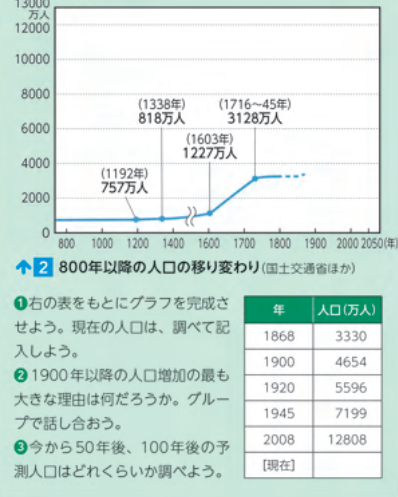
映画「ゴジラ対ヘドラ」のポスター

ゴジラ(©TOHO CO.,LTD)

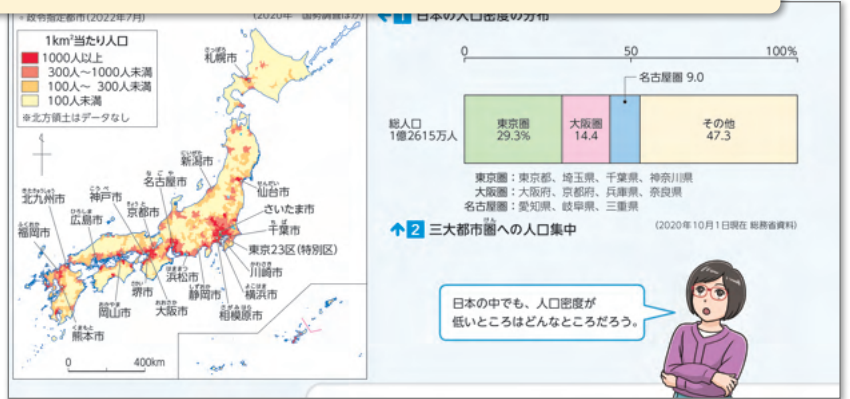
現代社会の課題でつながる3分野の学び

「公民としての資質・能力の育成」の観点から、現代社会の諸課題についての取り扱いを充実させました。生徒が、「人口・移民」や「震災・復興」など自分たちが生きる社会のさまざまなテーマについて、「地理」・「公民」での学びと合わせて多面的・多角的に考察し、深く理解することができるように支援します。

TRY!



歴史では、人口の移り変わりや明治時代の移民政策について解説し、現代の在日外国人の話題につなげています。
地理では、世界や日本の人口分布の偏りなどを取り上げています。



▲ 歴史 p.200

▼ 公民 p.220

▲ 地理 p.162

関東大震災と後藤新平

後藤新平が考えた復興のための4原則

- 遺部はしない
- 復興費は30億円
- 欧米建築様式を採用する
- 新都市を築く

3 後藤新平

1 復興された津波被害タワー(2021年 見学会撮影)

5 自然災害に向き合う

さまざまな自然災害

▲ 歴史 p.236



▲ 地理 p.156

1 太陽光発電(新潟県長岡市)

2 風力発電(北海道苫小牧市)

3 地熱発電(茨城県大子町)

4 バイオマス発電(福島県相馬市)

5 水力発電(山形県最上郡最上町)

6 再生可能エネルギー

LOOK!

現在、世界各地で、自然を利用したさまざまな再生可能エネルギーによる発電が進められています。これらは、化石燃料とは違って、再生できる資源を消費して発電できるので、環境への負担が小さいという利点があります。

歴史では、過去の地震の記録を伝える活動や関東大震災からの復興を取り上げています。
地理では、地震のメカニズムや発生地の分布、ハザードマップなどを、公民では自然災害と資源・エネルギーとの関わりを扱い、3分野で体系的に学習できるようになっています。

りました。近年では、携帯電話(スマートフォン)が普及し、いつでも、どこでも、文字・音声・画像などの情報を手軽に送受信し、双方向のやり取りをすることができます。このようなグローバル化や情報化の進展によって、多国籍企業の活動や国・地域どうしの相互依存の関係はますます強まっています。世界は一体化し、私たちの生活や文化も大きく変わってきているのです。

日本は第二次世界大戦後、世界有数の経済力をもつ国に発展しました。また、日本の文化は世界からも高く評価され、多くの観光客が日本を訪れるようになりました。和食や歴史的な遺産・芸能などの伝統文化だけでなく、漫画やアニメ、ゲームなど、現代のポップカルチャーも海外では人気です。

日本では1950年代から出生率が急激に低下し、現在では、世界で最も少子高齢化が進んだ国となりました。人口減少が進む一方で、日本に住む外国人は増えています。さまざまな人々にとって、暮らしやすい社会にしていこうと求められています。

▲ 歴史 p.280

公民 p.2

歴史の最後の本時ページでは、公民との接続を意識し、公民の第1章で学習する、「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」といった現代社会の特色に触れています。

第1章 私たちの暮らしと現代社会

学習のはじめに

現代の社会ってどんな社会だろう..... 14

1 節 私たちが生きる現代社会

1 つながる世界と私たち 16

2 急速に進展する情報社会 18

3 進む少子高齢化社会 20

特色 2

3 身近な地域から社会を考えることができる教材・内容

日本の多様な伝統・文化や、身近な地域の歴史を調べる活動の事例を、第1章のほか特設ページなど各章で紹介することで、日本や郷土の伝統・文化を理解し、尊重しようとする態度を養えるように工夫しました。



身近な地域の歴史を調べ、自分たちと歴史のつながりを意識できるページの充実

社会に開かれた学びのなかで、生徒が地域と歴史との関わりを意識し、自分の地域に関心もてるよう、身近な地域の歴史を調べる学習活動のページをいっそう充実させました。架空の調査活動を具体的に掲載することで、読んだ生徒が調査を追体験し、実際に自分で調査をする際のロールモデルとして役立てることができるようになっています。

2冊 身近な地域の歴史を調べよう

身近な地域の歴史を調べる学習の方法について学びましょう。

1 情報を集めて問いを立てよう

▶ 地域にはどのような歴史があるのかな

小学生のときの歴史は、教科書の中だけでなく、私たちの身のまわりにもあるものです。小学生のときに見かけた建物や町並み、街道、祭りや行事なども、地域の歴史を知るきっかけの一つです。小学校での学習や、自分自身の経験思い出して、身近な地域に、いつごろ、どのような歴史があるのか探ってみましょう。また、グループで話し合うと、自分だけでは気づけなかったことも発見するかもしれません。意見を話し合っ、興味のあることや疑問を探しましょう。

「地域の歴史について調べたい。」

- ・地域の歴史について調べたい。
- ・歴史的な工芸品・特産品
- ・伝統、習俗、祭典
- ・地域の課題

「地域の歴史について調べたい。」

- ・場所や文化
- ・行事や風習
- ・できごと
- ・交通、輸送、通信
- ・文学、文化

「地域の歴史について調べたい。」

- ・昔の時代の人は、どのような暮らしをしていたのだろうか。
- ・なぜ人はこの場所に定住したのだろうか。

「地域の歴史について調べたい。」

- ・昔の暮らしは、いつからあるのだろうか。
- ・暮らしの道具はどのように変化したのだろうか。
- ・暮らしに、他にも何を学べるのだろうか。

「地域の歴史について調べたい。」

- ・昔の暮らしは、いつからあるのだろうか。
- ・暮らしの道具はどのように変化したのだろうか。
- ・暮らしに、他にも何を学べるのだろうか。

地域調査の手引き

【調査全体の経過を立てよう】

- 1 情報を集めて問いを立てよう
- 2 実際の調査を進めよう
- 3 整理して考えよう
- 4 調査の結果をまとめよう
- 5 発表して振り返ろう

興味があることが出てきたら、その中からいくつかを選んで、まずは学校内で調べ学習を行います。学校図書館で、地域の歴史についての本や、興味があることがら関係する本を探しましょう。インターネットを活用して検索することも有効です。テーマを決めたときの単純な疑問を調べていくうちに、「なぜ？」と新しい問いが生まれてくるはず。情報を集めて、問いを深めていくと、地域調査で追究したい課題が明らかになっていきます。

同じことさらに探して、他の地域や異なる時代についても、情報を集めてみよう。

歴史の技

学校図書館を活用しよう

◆調査に役立つ図書

資料室や歴史資料は、歴史上のできごとなどの解説をつかぬるのに役立ちます。人名事典や地名事典は、人物の経歴や地名の由来などを調べるときに役立ちます。

◆調査の探し方

学校や地域の図書館では、日本十進分類法(JLCC)によって、本が数字で分けられています。歴史について調べたいときは、[2]で始まる番号の欄を探してみましょう。探検隊がある場合は、調べたいことに適するキーワードを入力して、本を探してみよう。社会科の先生や司書の先生にもアドバイスをもらって、いろいろな探し方を試してみよう。

インターネットを活用しよう

◆インターネットの検索

検索キーワードを入力すると、さまざまなウェブサイトが表示され、多くの情報を得ることができます。地方公共団体や博物館などのウェブサイトは、地域の歴史を調べるうえで役立ちます。

◆利用するときの注意点

●情報が当たらないが、古かったりしない確認するようにしよう。特に、個人が作成したウェブサイトは、個人的な考察や感想と事実の区別が難しいこともあります。出典をよく確認し、情報を正しく選択しよう。

●ウェブサイトにも著作権があります。画像や文章を勝手に写して、自分のものとして発表すると、著作権の権利を侵害してしまいます。出典を明記し、必要経路の引用にするなど、ルールを守りましょう。

第1章2節では、小学校の学習など既習の知識を活用して問いを立て、実際に調査をし、レポートにまとめるまでの一連の流れを丁寧に扱っています。

▲ p.12-13

身近な地域の歴史を調べよう

移り変わる戦後の街を訪ねて——未来に向かって歩み続ける川崎市

ひろとさんのグループは、戦前から近郊工業都市の中心地で、戦後の高度経済成長を背景に発展しました。その後、環境に配慮しながら、さらに発展を続けています。ひろとさんのクラスでは、戦後の高度経済成長の移り変わりをグループに分かれて調べる予定です。

1 ポスターにまとめて発表しよう

ひろとさんは、グループごとに調べたことをポスターにまとめました。

ひろとさんのグループ

私たちは、地域の土地利用の移り変わりを、高度経済成長期と現在の地形図を比較して調べました。

1960年当時の川崎市

2020年現在の川崎市

●工場を建ててきた建物も、なくなっている。

●工場があった場所が、大型商業施設になっている。

さらに私たちは、高度経済成長期の暮らしの様子を、祖父にインタビューして調べました。

ひろと：高度になった建物も、いつか壊れてしまいますか。

おじ：ああ、高度経済成長期のことだね。建物も、もともと耐用年数が決められていて、その寿命、寿命が来たら建て替えるんです。高度経済成長期の1972年には、仮設を建てて建て替えて、今は高層ビルになっていますよ。

ひろと：でも、私も壊れずに残っているものもあるんだ。あの商業施設のおおききビルは、昔から川崎にあって、文芸だとしても地元の人が大切に大事にされてきたよ。

ひろと：時代が変わっても、変わらなくて残っているものもあるんだ。私の祖父は、高度経済成長期でなくても、古いものも大切にすることができてました。

▲ p.272

特設ページでは、生徒が地域の歴史を調査する様子をたどりながら、各時代の学習内容と関連する地域の、伝統・文化や人物などの歴史を学ぶことができます。

特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」

生徒が訪れることができる範囲の「地域」を調べる

- ・ 中世の要塞都市を歩こう (鎌倉市) …p.90-91
- ・ 建造物から時代の特色を考えよう (名古屋市) …p.224-225
- ・ 移り変わる戦後の街を訪ねて (川崎市) …p.272-273

より広い範囲の、歴史的特性をもった「地域」を調べる

- ・ 東北地方の歴史を調べよう (「中央」と「地方」) …p.54-55
- ・ 沖縄の歴史を調べよう (琉球王国と文化の保護) …p.176-177
- ・ 北海道の歴史を調べよう (アイヌ民族と文化の保護) …p.178-179

多様な伝統・文化や、それを創り・伝える人たちの営みについて考えることができる内容の充実

日本の多様な伝統・文化について、どのような歴史的背景の中で形づくられてきたのか、どのように守り・伝えられてきたのか、生徒が深く理解できるよう、文化の取り扱いを充実させました。

近・現代の学習でも文化史の内容を充実させることで、生徒が自分たちとのつながりを、より感じることができるようになっています。



4 家庭に普及したラジオ 1931年には、聴取者が100万人をこえました。これ、文庫本や1冊1円の文学全集も盛んに出版されました。1925(大正14)年にラジオ放送が始まると、国内外でのごと

5 大正時代に発行された雑誌 雑誌でおしゃれをした男女の若者たちは、当時、モボ(モダンボーイ)・モガ(モダンガール)とよばれました。



1 建設中の東京タワー(注:1958年)と、
2 街頭テレビに集まる人々(上:1955年)
東京タワーは、テレビとラジオの電波塔として造られました。テレビ放送が開始された当時、テレビは高級で、街角に設置されたテレビに人々が集まりました。

3 美空ひばり(1937~89)
(ひばりプロダクション提供)
9歳でデビューし、「天才少女」とよばれました。40年以上にわたって歌謡界で活躍しました。

テレビは、人々の暮らしをどのように変えたのかな。

8 わが家にテレビがやってきた
▶ マスメディアの発達と戦後の文化

戦後から高度経済成長期にかけて、人々の生活や文化はどのように変化したのでしょうか。

▲ p.223

▲ p.270



10 北と南で開かれた交易
▶ 琉球王国とアイヌ民族

琉球(沖縄)の歴史は、約450年にもわたる琉球王国の歴史です。1992年に開国された。2019年の大正14年により正式な自治体として、琉球特別区が設けられました。

琉球(沖縄)の歴史は、約450年にもわたる琉球王国の歴史です。1992年に開国された。2019年の大正14年により正式な自治体として、琉球特別区が設けられました。

アイヌの歴史は、約1万年にもわたるアイヌ民族の歴史です。1992年に開国された。2019年の大正14年により正式な自治体として、アイヌ民族自治区が設けられました。

アイヌの歴史は、約1万年にもわたるアイヌ民族の歴史です。1992年に開国された。2019年の大正14年により正式な自治体として、アイヌ民族自治区が設けられました。

各時代の文化史だけでなく、琉球王国やアイヌ民族の歴史と文化もまとめて学習できるようになっています。

▲ p.80-81

世界遺産 **国宝** **重要文化財**

世界遺産、国宝、重要文化財の写真にはそれぞれマークを付けて、伝統・文化に対する関心が高まるようにしています。



1 姫路城(兵庫県姫路市) 美しい白壁から、白鷺城ともよばれています。

2 「唐獅子図屏風」(狩野永徳画 宝内三の丸風説書) 屏風やすまの絵巻には、唐獅子・虎・竜のように、力強さをほこるものが好まれました。

この時代、このような絵が好まれたのはなぜだろう。

7 城と茶の湯
▶ 南蛮文化と桃山文化

戦乱の時代のなかで、どのような文化が生まれたのでしょうか。

▲ p.112

主権者として、 ともに生きる力を育む教科書

歴史学習全体を振り返り、現在に生かす「歴史学習の終わりに」 p.287-289

歴史学習の最後には、現在と未来について考察・構想し表現する活動を位置づけました。現代社会の課題の例として、SDGsの17の目標も参考にしながら「男女平等」、「環境保護」、「国際協調」の三つのテーマを取り上げ、歴史的な観点から調べ、発表する生徒の姿を掲載しています。読むことで生徒が調査を追体験できる構成です。

「歴史学習全体を振り返り、現代社会の問題や自分の身近な話題につなげる」という生徒の自然な思考の流れを、丁寧に表現しています。

p.12-18（身近な地域の歴史）の調査と同じステップを踏むことで、調査の手法の定着を図ります。複数人で意見を出し合いながら、問いを立て、調査し、まとめて発表する協働的な学びの姿を、順を追ってわかりやすく掲載しています。

SDGsでつながる 3分野の学び

社会科の目標である、公民的資質の育成を見据えて、地理・歴史・公民の3分野でSDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り上げています。

▲ 地理 巻頭2

▲ 公民 p.I

社会的な課題を多面的・多角的に捉え、考察できる教材・内容

歴史で学んだことを、新たな視点から捉えなおして学習を深めます。自分たちで調べたり、話し合ったりする活動の中で、現代の視点から歴史を捉えなおし、公民の学習や自分たちの生活に接続していけるよう工夫しています。



特設ページ「歴史を探ろう」

本時ページには登場しない人物の視点や、後の時代への影響やつながりなどの視点から、生徒が捉えなおすことができるページです。全体で13テーマを設けています。

TRY!

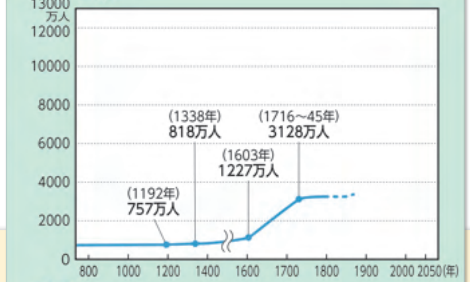
〈学びを助ける三本の柱〉(→本資料p.7)の一つである「TRY!」は、学んだことを生かしてさらに学習を深めたり、現在の社会の課題について考えたりするコーナーです。すべての特設ページに設けています。

TRY!

- ① アイヌ民族の文化には、どのような特徴があるのか考えよう。
- ② 蝦夷地(北海道)でとれた昆布やニシンがどこまで運ばれたのか調べ、日本の文化との関係を考えよう。
- ③ 民族共生象徴空間「ウポポイ」ができた経緯について調べ、明治時代以降の政策がアイヌ民族の文化に与えた影響を考えよう。

▲ p.179 特設ページ
「北海道の歴史を調べよう」

TRY!



↑2 800年以降の人口の移り変わり(国土交通省ほか)

- ① 右の表をもとにグラフを完成させよう。現在の人口は、調べて記入しよう。
- ② 1900年以降の人口増加の最も大きな理由は何かだろうか。グループで話し合おう。
- ③ 今から50年後、100年後の予測人口はどれくらいか調べよう。

年	人口(万人)
1868	3330
1900	4654
1920	5596
1945	7199
2008	12808
[現在]	

▲ p.200 特設ページ
「人口の変化と海外への移民」

危機に立ち向かった人々

日本列島に住む私たちは、地震や火山の噴火、台風など、大きな災害を何度も経験してきました。また近年では、世界的な気候変動や感染症なども重要な課題になっています。ここでは地震と感染症を中心に、過去の災害の記録を探り、未来に生かす方法を考えよう。

先人が伝える地震の記録

過去の震災を調べる研究の中で、古文書などとともに、津波による被害などを記した石碑が注目されています。大津市津波地区に、安政南海地震の被害を伝える「大地開闢川口津波記」が新まれた石碑が建てられています。安政南海地震は、1854(安政元)年12月24日、中部から九州地方に及び、大きな被害をもたらしました。石碑には、「大地震が起こったときは、津波が来るとして、絶対に船に乗ってはならない。」「家が壊れて火災も発生するため、戸じまりの人々の用心が肝要である」などの震災の教訓のほか、「のちの人々のために、文字が読みやすいように、毎年、石碑の文字に墨を入れてほしい」と記されています。現在も地域の人が、石碑に墨を入れる取り組みが続いています。若手津波伝承隊では、1896(明治29)年と1933(昭和8)年の三陸沖地震とそれによる津波の被害を受けました。高松市の豊後半島の高松では、1933年の地震の後、高さ50mの地点に石碑が建てられました。2011年の東日本大震災(p.278→)の際、津波は石碑より奥には到達しませんでした。

関東大震災と後藤新平

後藤新平が考えた復興のための4原則
① 組合はしない
② 復興費は30億円
③ 鉄骨造新式の都市計画を採用する
④ 新都市計画実施のために地元に新設した制度をとる

復興事業で建設された復興小学校(復興市立) (東京立 中央図書館蔵)

1923(大正12)年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲いました。地震と火災により、東京・神奈川をはじめ関東一円は大きな被害を受けました。被災した家屋は約37万戸、焼け出された住民は約340万人とされ、死者・行方不明者は10万人以上に達しました。人々が立ち向かった。復興計画はいち早く取り組んだのが後藤新平でした。後藤は、東京を元に戻す「復旧」ではなく、新たによりよい都市づくりをする。東京の「復興」をしようと考えます。防犯内務大臣と帝都復興院院長を兼任し、復興の基本方針を学期に発表することで人々に希望を与えるとともに、焼け跡の土地を買い上げて広く大きな道路や公園をつくるなど、防災・防火に備えた都市づくりを推進しました。その後、震災は復興計画の途中で内閣を去ることとなりました。しかし、学校や公園などそれぞれの復興の担い手となった技術者たちによって、復興の立てた計画に基づく復興事業は実行されました。関東大震災後の復興事業は、その後、阪神・淡路大震災後の復興事業でも参考にされるなど、災害復興の都市計画のモデルとなりました。

大戦末期に発生したパンデミック

1918年から1920年初めにかけて、インフルエンザが世界中で猛威をふるい、人類の歴史において最も犠牲者の多かったパンデミック(世界的な感染症の大流行の一つ)となりました。世界で3人に一人が感染したとされ、死者は2千万人から5千万人、またはそれ以上ともいわれています。これは、発生当時が続いていた第一次世界大戦の死者数を大きく上回るものでした。インフルエンザの発生が初めて確認されたのはアメリカですが、アメリカ軍の兵士とともに大西洋を越え、ヨーロッパ、さらにアジアやアフリカへと広がっていき、戦争は感染拡大の要因の一つでしたが、参戦国では国民の士気が下がるとを恐れ、インフルエンザに関する報道が規制されました。一方、中立国だったスペインでは公然と報道されたため、当時は「スペイン風邪」という、スペインで発生したかのような名前がつけられました。当時、インフルエンザがウイルスとその変異によって引き起こされることは、まだ解明されていませんでした。インフルエンザのワクチンが開発されたのは第二次世界大戦の末期になってからのことでした。「スペイン風邪」は日本にも大きな被害を及ぼし、約45万人が犠牲となりました。

「スペイン風邪」の影響と教訓

「スペイン風邪」が流行している間は、世界でマスク着用や換気(日本では扇風機)や、学校を閉鎖し公共施設の閉鎖など、密集を回避するさまざまな対策が試みられました。このことは、その後の公衆衛生の発展にもつながります。「スペイン風邪」の大流行以前は、病気は個人の責任とみなされがちでした。この感染症は、病気は社会の問題としてとらえ、その予防に国家が取り組みをしなければならないという考え方を強めるきっかけになったのです。う蓄行(現在の日本では厚生労働省)が感染症対策を推進し、医療保健制度が改善された。また、小さなウイルスは来たため、国際的な連携の強みオーストリアのウィーンに監視機関は、世界保健機関(WHO)です。WHOは、近年世界で流行した新型コロナウイルス感染症においても、調査やアドバイスを提供を行っています。

国では、健康管理や衛生を促す(指)に当たると)がつくられたり、ました。かないうちに国境を越えてい進められました。1919年、された感染症対策の国際連携へと発展していくことになり流行した新型コロナウイルスに関するさまざまなアドバイ

これから危機に備えて

現在も、地震、集中豪雨による水害、新型コロナウイルス感染症の流行など、災害が繰り返されています。災害は、人々の暮らしに大きな被害をもたらしています。これまでも日本では、災害に備えるために力を入れてきました。復興を成し遂げました。私たちに、過去の災害で学んで防災・減災に努めるとともに、自分たちが学んだ経験を活かして未来の世代に伝えていくことが求められています。

▲ p.236-237

SDGs

SDGsと関連する特設ページでは、あてはまる項目とキーワードを、右ページ下のスペースに示しています。歴史の学習を現代の問題とつなげて考えたり、調べ学習のテーマを選んだりする際の参考になります。

SDGs ④ 教育 ⑤ ジェンダー平等

▲ p.157 特設ページ「国民国家の成立」

SDGs ③ 健康 ⑧ 働きがい

▲ p.201 特設ページ「人口の変化と海外への移民」

2 小学校・中学校・高等学校の 学びのつながりを意識した内容・構成

小学校での人物や文化財中心の学習からスムーズに接続できるように、歴史学習の導入部である第1章や、各時代の学習である第2～7章の導入を、より親しみやすい内容にしました。また、高等学校での近現代史中心の「歴史総合」にむけて、通史学習の充実を図りました。

第1章 歴史のとらえ方・調べ方 1節 私たちと歴史

年代の表し方と時代の分け方

現在、世界では、主に西語を用いて年代が表されています。しかし、年代を表す方法は西語だけではなく、中国では伝統的に干支(干支平二支)や年号(元号)といった方法で年代を表していました。日本では今でも西暦(元号)の2種類の表し方を使っています。また、イスラム教の世界では伝統的にイスラム暦が用いられています。年代をいくつかのグループに分けたのが**時代**です。時代を区分することで、当時の文化や社会、政治の特徴を、大まかにとらえることができます。聞いたことのある時代区分はありますか。

西暦：ヨーロッパで考え出された年代の表し方で、イエスが生まれたと考えられている年を紀元1(元)年とし、それより前を紀元前(西暦)年、それ以後を紀元(後)暦年と表しています。

西暦：西暦の100年を一つの単位として年代を区分する表し方です。西暦のように1世紀1年から100年までの100年間、2世紀は101年から200年までの100年間を表します。下の年表をみてください。例えば、奈良に都を定めた710年を西暦で表すと、710年、701年から800年の期間のある西暦年となります。



年号：日本には、明治・大正のような年号(元号)という年代の表し方があり、西暦ともよびかえています。年号は西暦よりも7世紀の中ごろから用いられるようになったとされています。明治時代の年号は、天皇の一代ごとに年号は一つ決められています。

西暦：日本には、明治・大正のような年号(元号)という年代の表し方があり、西暦ともよびかえています。年号は西暦よりも7世紀の中ごろから用いられるようになったとされています。明治時代の年号は、天皇の一代ごとに年号は一つ決められています。

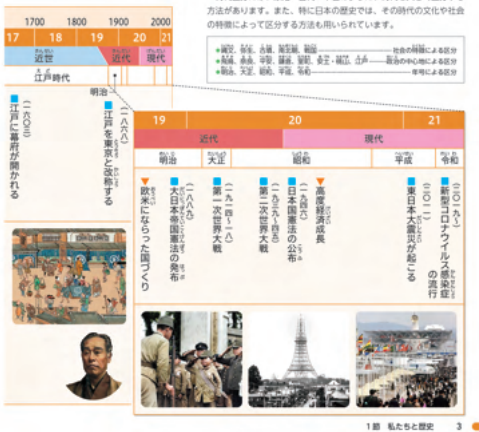
干支：干支は、年・月・日などを表す方法で、中国では西暦(p.26)の時代から使われていたとされています。干支と平二支を組み合わせれば12の組み合わせで表され、60年をめぐって繰り返します。また、十二支は、時刻や方位を表す言葉としても使われています。

元号：元号は、天皇の御代を表す方法で、中国では西暦(p.26)の時代から使われていたとされています。干支と平二支を組み合わせれば12の組み合わせで表され、60年をめぐって繰り返します。また、十二支は、時刻や方位を表す言葉としても使われています。

時代区分

時代区分には、原始・古代・中世のように、時代を大きく区分する方法があります。また、特に日本の歴史では、その時代の文化や社会の特徴によって区分する方法も用いられています。

● 原始 狩猟・採集 縄文 弥生 古墳
● 古代 飛鳥 奈良 平安 鎌倉 室町 徳川
● 中世 戦国 江戸 幕府 明治 大正 昭和
● 近世 戦国 江戸 幕府 明治 大正 昭和
● 現代 戦後 平成 令和



小学校での学習を思い出し、活用する、第1章1節「私たちと歴史」 p.2-7

「年代の表し方と時代の分け方」では、年表の読み解きや時代区分といった小学校の学習を振り返りつつ、これから学ぶ歴史全体を大観することができるよう工夫しました。小学校でよく扱われる項目や資料で構成した年表を活用し、覚えていることを発言したり、教科書の中から探したりするなど、さまざまな活動ができるページになっています。「歴史ゲームで遊ぼう」では、小学校での学習や、教科書の中の未習事項を用いて、楽しく歴史学習がスタートできるゲームを紹介しています。歴史学習の得意・不得意にかかわらず、すべての生徒が取り組める内容です。必要な時間・人数が異なるゲームをいくつか紹介していますので、生徒や授業の実態に合わせて実施することができます。

歴史ゲームで遊ぼう

小学校で学んだ歴史上の人物

人物名	活躍の時代	主な業績	関連する教科書
縄文土器	縄文時代	縄文土器の発見	縄文時代
平家朝臣	平安時代	平家朝臣の活躍	平安時代
...

小学校で学んだ文化財やできごと

文化財/できごと	時代	特徴	教科書
縄文土器	縄文時代	縄文土器の発見	縄文時代
平家の乱	平安時代	平家の乱の発生	平安時代
...

TRY
1. 上の人物、文化財、できごとの中で、知っているものに下線を引きましょう。
2. 上の人物、文化財、できごとからいくつかを選んで、歴史カードを作ります。
3. カードの内容と同じ時期のできごとについて、歴史カードを作ります。

歴史カード「福沢諭吉」

項目	内容
生年	1835年
没年	1903年
主な業績	『西洋事情』の刊行、『西洋事情』の刊行
...	...

みんなで作った歴史カードを持ち寄り、「歴史ゲーム」にチャレンジしましょう。

クイズに挑戦! 各グループでクイズを作ります。

歴史カードの質問を順番に読んで、回答カードに記入して出題します。

年表を作ろう

p.2-3の年表を参考に、歴史カードを時代の順に並べ替えましょう。

ペアを組もう

各グループの代表者が、1人ずつ交代して、質問カードを読み上げ、回答カードを提出します。

足利義満

戦争ののどろきを見せない

原爆ドーム

足利義満は、戦国時代の後継者として、室町幕府の繁栄を成し遂げました。

原爆ドームは、第二次世界大戦の終結を象徴する重要な文化財です。

歴史人物クロスワードパズル

小学校で学んだ歴史上の人物名をヒントに入れて、クロスワードパズルを完成させましょう。

p.4の「小学校で学んだ歴史上の人物」が、すべて入ります。

生徒が取り組みやすい導入ページ

各章の冒頭には、生徒が資料から学習する時代をイメージすることができる「とびら」ページと「学習のはじめに」を設けました。生徒が主体的に資料を活用できるよう、資料は大きく掲載しています。

これから学習する時代 ★…「江戸図屏風」に描かれた時期

年代	1550	1600 ★	1700	1800
日本	室町時代 戦国時代	安土・桃山時代	江戸時代	
中国	明		清	
朝鮮	朝鮮			

▼ p.20-21 (第2章導入)

原始や古代の人々は、どのような暮らしをしていたのだろうか

縄文時代

古墳時代

縄文時代の土器

古墳時代の土器

縄文時代の土器

古墳時代の土器

縄文時代の土器

古墳時代の土器

▲ p.95 (第4章導入 (とびら))

小学校で学んだ人物や事柄のイラストを、各章のとびらに掲載しました。小学校と中学校の学習をつなげ、中学校の学習内容に入るためのきっかけになります。

特に、原始・古代の導入ページでは、教育出版の小学校社会科教科書『小学社会6』に掲載している資料を使用しています。

小学校

小学校で学習した人物を生徒が振り返るきっかけになるよう、マークをつけました。

重文

小学校

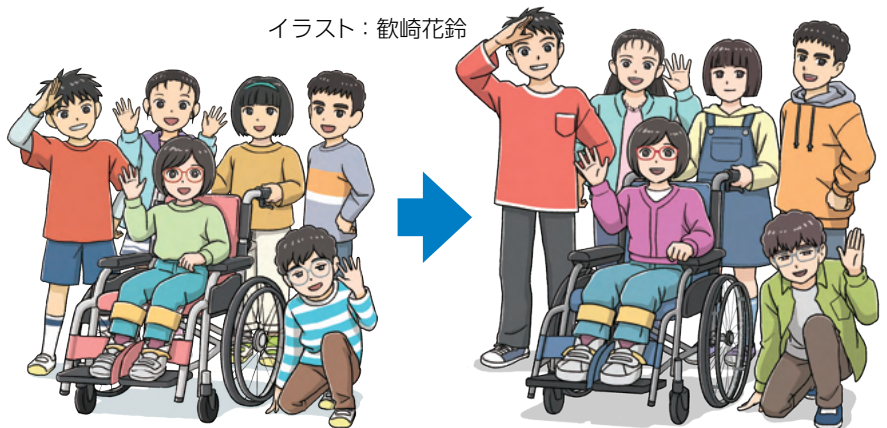
2 織田信長 (1534~82) (長興寺蔵)

▲ p.108

『小学社会』と同じキャラクター

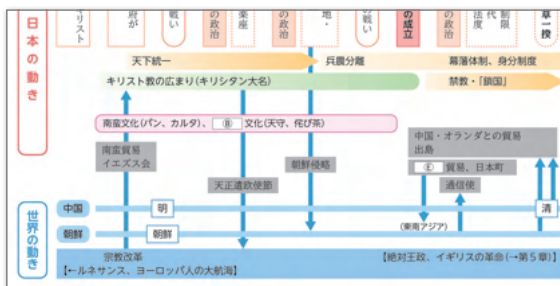
教育出版の小学校社会科教科書『小学社会』に登場する児童キャラクターが、中学生に成長した姿で登場し、学びの連続性や親しみを感じることができます。

イラスト：歡崎花鈴



中学から、高校へ

高等学校では、近現代の日本と世界の歴史を学ぶ「歴史総合」が必履修科目です。教育出版の『中学社会 歴史』では、古代から現代までの通史学習の中で、日本の歴史の大きな流れと、その背景となる世界の歴史を丁寧に描いています。日本と世界との関係を捉えながら学び進める歴史学習は、高校での学びにもつながります。



▲ p.140

特色 **3**

3 自ら学ぶ力を支える紙面・内容の工夫

個別最適な学びや協働的な学びで活用しやすいよう、学習や調査の進め方を解説するページ、資料ページを充実させました。また、ユニバーサルデザインを取り入れ、すべての生徒が学びやすい教科書を目指しました。

学習の進め方を示したページ p.8-18

歴史学習の進め方を振り返って確認できるページを充実させ、生徒の自ら学びに向かう力を支援できるような教科書を目指しました。また、それぞれの学習の場面においても、具体的な注目ポイントや、考えられる「問い」をさまざまな形で示し、生徒の自学自習を支援しています。

教科書p.158を例に、文章に問いかけながら読んでみましょう。

カリフォルニアまで領土を拡大したアメリカは、太平洋へ乗り出し、捕鯨船や中国との貿易船の寄港地として、日本を開国させる考えを強めました。そして、東インド艦隊司令長官ペリーを派遣し、大統領の国書を日本政府に渡すことにしました。ペリーは、琉球(沖縄県)に寄港したのち、1853年、4隻の軍艦を率いて浦賀(神奈川県)沖に現れました。幕府は、オランダ商館から事前に來航の情報を得ていましたが、軍艦の威力におされて国書を受け取り、翌年の回答を約束しました。

教科書の文章の気になったところに、問いを投げかけてみよう。



「歴史にアプローチ」では、教科書の内容から問いを立てたり、「歴史的な見方・考え方」や思考ツールを活用したりする方法を解説しています。

「地域調査の手引き」は、さまざまな場面の調べ学習に役立ちます。

さまざまな問いを投げかけてみよう

問いには、たくさんの種類があります。問いはわからないことを理解するときだけでなく、より理解を深めるときにも役立ちます。例を参考に、いろいろな角度から問いを考えてみましょう。

- 何のため？(目的・意図)
- 情報源は？
- 本当にそうなの？(確認)
- そもそもは？(原点確認)

- だれが？(何が?)
- いつ？
- どこで？

地域調査の手引き 1 【調査全体の見通しを立てよう】

- 1 情報を集めて問いを立てよう**
地域にはどのような歴史があるか、意見を出し合ったり、学校内で情報を集めたりして、調査の課題を決めましょう。
- 2 実際の調査を進めよう**
調査計画書を作って、調査を進めましょう。
- 3 整理して考察しよう**
調査の記録や集めた資料を整理して、そこからどのようなことがいえるか、班で話し合みましょう。
- 4 調査の結果をまとめよう**
調査の結果を文章、地図やグラフ、表やイラストなどに表現して、レポートを作りましょう。
- 5 発表して振り返ろう**
発表会を開いて、調べたことを発表しましょう。他のグループと意見交換をして、調査を振り返りましょう。

▲ p.8

p.13 ▶

特別支援やユニバーサルデザインの視点を大切に教科書づくり

教育のユニバーサルデザインの実現にむけ、埼玉大学の名越斉子先生に社会科全体を監修していただきました。より多くの生徒が学びやすいように、レイアウトや配色、書体などの表現を工夫しています。

強調される場所がわかりやすい配色に工夫しました。

吹き出しの中は、読みやすい位置で改行しています。

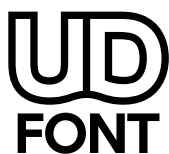


▲ p.34

資料エリアの背後に色をつけることで、本文と資料の見分けがつきやすくなりました。



図やグラフなど、教科書中の表現には、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。



本文や注など、教科書中の文章には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

内容の確認や自学自習で活用できる資料ページ 巻末2・3

歴史の大きな流れを見開きで一覧することができる「歴史年表」(巻末2・3)では、できごとの起こった時期を確認するとともに、**現代との時間的な距離**を捉えやすいように工夫しています。また、現在の県境とは異なる時代の日本の地域区分や、産業・交通を確認できる「昔の国と、都道府県の対照図」「江戸時代の産業と交通」(巻末1)を設けています。

インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」

紙面に印刷された**二次元コード**から、各種のコンテンツにアクセスして学習に活用することができます。授業以外でもアクセスが可能で、復習や自主学习など生徒の**個別最適な学び**を支援します。


*詳細は、「まなびリンク」の特集資料をご覧ください。




学習に役立つ
さまざまな情報を、
ウェブサイトで
見ることができます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh25/shakai/rekishi/index.html>






リンク



動画



クイズ

役立つリンク集

143ページ

- 国立国会図書館 「JAPAN SEARCH」 (社会と文化に関する資料データベース)
- 文化庁 「国指定文化財等データベース」 (文化財・国宝の資料データベース)
- 独立行政法人 日本芸術文化振興会 「文化デジタルライブラリー」 (伝統文化に関する解説・動画)
- 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 (UNESCO、世界遺産に関する情報)
- 国立国会図書館 「近代日本の肖像」 (第5巻2-5節：近代以降の人物)
- 国立国会図書館 国際子ども図書館 「中高生のための幕末・明治の日本の歴史事典」 (幕末・明治)

動画

歴史の系図を読み解こう

各章のとびらページではリンク集、「学習のまとめと表現」では、振り返りクイズにアクセスできます。また、すべての「歴史の技」に動画解説がついています。

クイズ

中学社会クイズ ~歴史~

92%

*「まなびリンク」は無料で利用できますが、通信料がかかります。

また、端末の操作やインターネットのルール、情報リテラシーについては適宜ご指導ください。

教科書を活用した指導を支える 教師用指導書

「教師用指導書」ラインアップ

*各企画の内容は変更になることがあります。
*その他、「拡大教科書」の発行を予定しています。

総説編

- 地理・歴史・公民の学習指導要領の解説
- 編集の意図、方針案の解説
- 3分野の具体的な評価規準等を一覧掲載

研究編

- 学習指導計画・評価計画資料
- 単元テスト/毎時のワークシート
- 学習指導案ほか

朱書編

- 「本時のねらい」と「振り返り」のポイント解説
- 紙面に沿った指導の手立て
- 掲載資料に関する解説・扱い方ほか

*教科書内容に準拠した単元テストやワークシート、図版集等をデータで提供します。

*教科書に掲載した白黒写真の一部について、AI技術と当時の資料を使ってカラー化し、収録する予定です。



当時のできごとを
身近に感じ、
よりアクティブな
学びに!



Myデジタルシリーズ

指導書をデジタル化した「Myデジタルシリーズ」で、働き方改革をサポート!

特長1

指導書が自分だけのものに

自分専用のID、PWでログイン。マーカー・ふせん・書き込みなどの機能を活用して、自分だけの指導書がカスタマイズできます。

特長2

いつでも、どこでも使える

専用ビューアのインストールは不要です。ウェブブラウザで閲覧できます。

特長3

全分野の指導書を一緒に使用できる

全学年の指導書を、同一の本棚画面からご使用いただくことができます。



デジタル教科書・デジタル教材のご紹介



紹介ページはコチラ

● 指導者用デジタル教科書（教材）

動画を活用した、学習への導入

各章の冒頭に導入動画を掲載しています。大きく単元が変わる場面において、新しい単元の学習内容を理解させたり、学習課題を意識づけたり、興味・関心を高めたりするのに役立ちます。



▲ p.95

*上記の機能は、「学習者用デジタル教科書+デジタル教材」には搭載されていません。

よりスムーズな資料提示

資料のコンテンツ画面内に、関連の深い資料がサムネイル表示されます。サムネイルから関連資料の拡大画面に遷移できるだけでなく、資料を並べて表示することもできます。



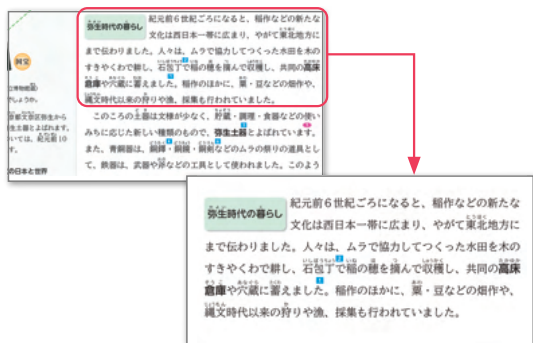
▲ p.188

*上記の機能は、「学習者用デジタル教科書+デジタル教材」にも搭載しています。

● 学習者用デジタル教科書+デジタル教材

本文と資料の表示切り替えがスムーズに

本文をいくつかのブロックに分けて、別画面で大きく表示します。（画面の下に新しいタブが現れます。）紙面と資料拡大画面との表示切り替えが行いやすく、本文と資料の関連付けに便利です。

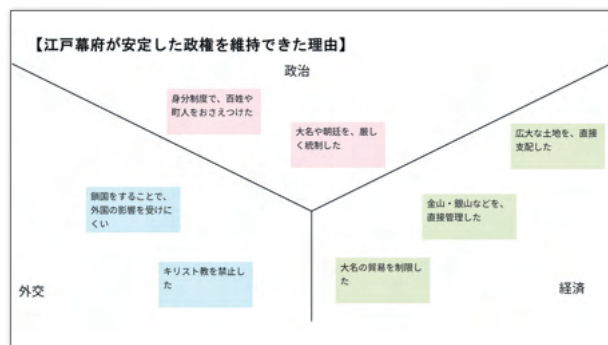


▲ p.34

*上記の機能は、「指導者用デジタル教科書(教材)」にも搭載しています。

自ら考える力を育むツール

学習のまとめの場面を中心に、思考ツールを使用して取り組む「問題解決的課題」を掲載しています。課題に適した思考ツールが表示され、生徒の誰もが取り組みやすく工夫されています。



*上記の機能は、「指導者用デジタル教科書(教材)」にも搭載しています。

※デジタル教科書・デジタル教材は開発中のため、内容は変更となることがあります。



学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

教育出版

著作者の紹介

久留島典子 神奈川県立相模原市立大野北中学校教諭 神奈川大学教授／東京大学名誉教授

宇佐美健 神奈川県相模原市立大野北中学校教諭

遠藤基郎 東京大学大学院教授

大隅清陽 山梨大学大学院教授

大谷正敏 元静岡県浜松市立曳馬中学校校長

小澤義則 静岡県浜松市立南部中学校校長

河西 麦 千葉大学教育学部附属中学校教諭

加藤好一 元琉球大学教授

釜田 聡 上越教育大学大学院特任教授

後藤賢次郎 山梨大学大学院准教授

佐藤宏之 鹿児島大学准教授

佐藤正寿 東北学院大学教授

鈴木裕行 東京都練馬区立大泉西中学校校長

鈴木 允 横浜国立大学准教授

田川雄三 神奈川県川崎市立麻生中学校教諭

月脚達彦 東京大学大学院教授

土屋直人 岩手大学教授

長尾彰夫 元大阪教育大学学長

中野 聡 一橋大学学長

中瀨佑太 東京都中野区立中野東中学校教諭

西川杉子 東京大学大学院教授

西山暁義 共立女子大学教授

扶川 聡 東京都江戸川区立葛西第三中学校教諭

藤本将人 宮崎大学准教授

堀 新 共立女子大学教授

前島和樹 元神奈川県川崎市立東橋中学校校長

宮蘭 衛 新潟大学名誉教授

村井良太 駒澤大学教授

藪田 貫 兵庫県立歴史博物館館長

山口輝臣 東京大学大学院教授

山本達也 新潟大学附属新潟中学校校長

吉田英文 元富山県立南砺福光高等学校教諭

教育出版株式会社

SDGsとESDに関する校閲

手島利夫 元東京都江東区立八名川小学校校長

馬奈木俊介 九州大学主幹教授

特別支援教育監修

名越斉子 埼玉大学教授

編集協力

石井英真 京都大学大学院准教授



新しい教科書の特設サイト

教育出版ウェブサイトからもアクセスできます。



まなびリンク

授業で役立つ動画や音声、資料を活用できる
無料のコンテンツはこちらから。

本社
135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL 03-5579-6278(代) FAX 03-5579-6444

北海道支社
060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7 2F
TEL 011-231-3445 FAX 011-231-3509

函館営業所
040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F
TEL 0138-51-0886 FAX 0138-31-0198

東北支社
980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL 022-227-0391 FAX 022-227-0395

中部支社
460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL 052-262-0821 FAX 052-262-0825

関西支社
541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL 06-6261-9221 FAX 06-6261-9401

中国支社
730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL 082-249-6033 FAX 082-249-6040

四国支社
790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL 089-943-7193 FAX 089-943-7134

九州支社
812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル 4F
TEL 092-282-1150 FAX 092-282-1160

沖縄営業所
901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F
TEL 098-859-1411 FAX 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。

教育出版株式会社

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

